
虫籠

泰然自若

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

虫籠

【Z-ONE】

Z6332M

【作者名】

泰然自若

【あらすじ】

虫籠で育った少年は数年で外へ旅立つ。

無想が三日も続けば周囲の無個性はざわめき立つ。

異臭が漂う一室の中で少年は夢を見る。

擦り切れていく心の是非を問い合わせて。

帰れない、もうあの日々に。

その夢は何を描く。

それでも。それでも。

散々と散らばる汚物の間を縫う様に。

ドアを叩く音が響く。

煩いと思いながらも冷蔵庫から飲み物を流し込まれる琥珀色。

どうして普通で居られたのだろうか。

もう終わらない。始まりもしない。胸には君だけを秘めて。

開け放たれる扉に男の喧騒。椅子に座り、天井を眺めては怒声に反応せず。

ただただ、時が流れるのを感じ取るだけ。それが全てで思いは伝わる。

拘束されて手枷を嵌められて。

その歩む先にはまた日常が。

平気で過ごした日々に何の価値も見出せない。だから、変化を。自分の想いをぶつけた。だから、だから、だから。

心臓は一突きで。苦します。これは失敗だった。少年は過去を

振り返る。

今度は絞殺。時間を掛けてじっくりと。汚物が問題だった。汚物が汚物を撒き散らす。何の事はない。糞袋だつただけ。とつこの昔に心は壊れていた。

金に溺れた汚物に穢されたのは最愛の人。

壊れた日常。普通の日常。消えていった日常。始まる日常。

何故。どうして。こんな事。口は開けない。開かない。

死んだ。殺した。死んだ。殺した。

犯人は誰だ。犯人は少年で。犯人は別で。犯人は家族で。
もう、終わりにしよう。呴いた。だから、終わらせた。
何を。全て。時間を終わらせる。

どうしようか。迷つてしまつた。それでも成し遂げて

会いたかった。嗚呼、会いたかった。

会いたかったよ。もう一度。もう一度。

愛した人。愛された人。穢れた人。穢された人。

虫籠の世界へようこそ。

嗚呼。外は良い天氣だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6332m/>

虫籠

2011年10月6日15時56分発行